

## 第3回東京都地域医療構想策定に係る意見聴取の場

《日時・会場》（南多摩）

平成28年2月5日（金） 16:30～18:00

／東京都医師会 会議室

1 開 会

2 説 明

(1) 東京都地域医療構想（骨子）案について

(2) 構想区域の特徴について

3 意見交換

構想区域の現状と課題

4 閉 会

### 【配布資料】

資料1-1 東京都地域医療構想骨子案について（構成）

資料1-2 東京都地域医療構想（骨子）案

資料2 意見交換 ～南多摩における現状と課題～

資料3 医療・介護資源の状況

資料4 構想区域の特徴

資料5 構想区域間の患者の流出入状況

資料6 <入院料・疾患別>患者の受療動向（完結率）

参考1 構想区域（地図）

参考2 平成27年度第2回東京都地域医療構想策定に係る意見聴取の場  
（構想区域別意見）

# 意見交換 ～南多摩における現状と課題～

<患者の流出入の状況（2025年推計）>

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
流出超過 (320.2人/日)	流出超過 (608.8人/日)	流出超過 (516.6人/日)	流入超過 (1269.4人/日)

## 1 流出について

(論点の例示)

### ○南多摩に住む患者を南多摩の医療機関で診ている割合 (自構想区域完結率)について

- ・高度急性期～回復期機能
  - 高度急性期から回復期機能が他県から流入超過となる他の構想区域と異なり、近隣県（神奈川県）へ流出超過。  
自構想区域患者割合が85%程度と高い一方で、約40%の患者が構想区域外へ流出。ただし、流出先の多くが都内隣接区域及び神奈川県の隣接区域
- ・慢性期機能
  - 自構想区域完結率が70.6%と高く、都内隣接区域を含めると80.1%

### ○連携について

- ・患者が転院や退院により、住み慣れた地域（住所地）に戻る際、入院していた医療機関との情報共有、連携が必要となるが、課題は何か。

## 2 流入について

(論点の例示)

### ○連携について

- ・入院患者が、円滑に転退院するためには、患者の転院先や患者の住む地域の医療機関等との連携が必要となるが、課題は何か。
- ・慢性期機能 → 医療療養病床や介護療養病床が多く、神奈川県を含む様々な地域から患者を受け入れている。

## 提供している医療の現状（診療科別、機能別など）

(論点の例示)

- 不足している医療・機能
- 将来に向けて不足することが懸念される医療・機能

特 徴

- 救命救急センター 2施設
- 医療療養病床が高齢者人口10万対で都平均の1.4倍
- 障害者施設等入院基本料を算定している病床数が人口10万対で都平均の1.9倍、特殊疾患入院医療管理料/入院料を算定している病床数は都平均の3.1倍
- 回復期リハビリテーション入院料算定病床数は、人口10万対で都平均並み
- 地域包括ケア病棟入院料算定病床数は少なく、人口10万対で都平均の7割

届 出 の 状 況

南多摩の届出状況	病床数	南多摩 人口10万対	都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	0	0.0	97.2
一般病棟7対1入院基本料	2909	207.2	251.4
一般病棟10対1入院基本料	1247	88.8	95.1
一般病棟13対1入院基本料	117	8.3	20.0
一般病棟15対1入院基本料	315	22.4	25.5
療養病棟入院基本料 ※1	2160	637.0	456.1
療養型介護療養施設サービス費(介護療養病床として使用) ※2	369	108.8	101.5
障害者施設等入院基本料	810	57.7	30.9
特殊疾患入院医療管理料/入院料	87	6.2	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	495	35.2	40.7
地域包括ケア病棟入院料/管理料	36	2.6	3.7
緩和ケア病棟入院料	41	2.9	3.7

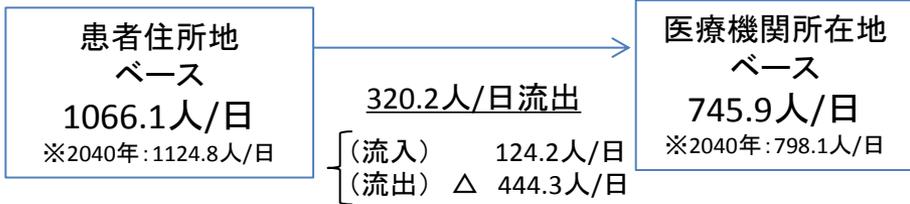
※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は、高齢者人口を使用

【参考】都全域の状況

	一般 病床	療養 病床	精神 病床	特定 機能 病院	大学 病院 本院	救命 救急 センター	在支病	内 高齢者 人口 10万対	在支診	内 高齢者 人口 10万対	訪看 St.	内 高齢者 人口 10万対	特養	内 高齢者 人口 10万対	老健	内 高齢者 人口 10万対
区中央部	8,239	1,699	1,307	6	5	6	3	1.9	184	113.9	65	40.2	2,046	1,266.8	789	488.5
区南部	6,574	1,518	178	2	2	2	5	2.1	145	61.4	71	30.0	2,146	908.0	670	283.5
区西南部	8,239	1,699	1,307	0	0	3	4	1.5	203	75.2	112	41.5	2,592	960.3	1,176	435.7
区西部	9,115	1,498	315	3	3	3	8	3.2	179	72.6	88	35.7	2,495	1,011.5	868	351.9
区西北部	10,671	3,690	3,320	2	2	2	18	4.3	254	60.9	135	32.4	4,712	1,129.2	3,018	723.3
区東北部	7,407	2,092	1,453	0	0	1	15	4.7	133	41.6	97	30.4	4,529	1,417.6	2,965	928.1
区東部	7,331	1,174	165	0	0	1	7	2.3	120	39.9	74	24.6	3,185	1,058.4	2,328	773.6
西多摩	1,925	2,316	2,622	0	0	1	5	4.9	20	19.6	28	27.4	6,802	6,650.6	1,315	1,285.7
南多摩	6,660	3,962	7,227	0	0	2	13	3.8	96	28.3	86	25.4	5,722	1,687.5	2,541	749.4
北多摩西部	3,449	1,150	63	0	0	1	5	3.4	48	32.4	46	31.1	2,254	1,522.1	1,489	1,005.5
北多摩南部	6,384	1,464	3,465	1	1	3	9	4.3	98	46.4	67	31.7	2,223	1,052.7	1,597	756.3
北多摩北部	4,412	1,743	2,193	0	0	1	4	2.3	57	32.5	55	31.4	2,978	1,698.5	1,569	894.9
島しょ	110	6	0	0	0	0	0	0.0	3	33.7	0	0.0	322	3,621.2	0	0.0

※出典は、骨子案P53参照

2025年推計患者数



流出入の状況



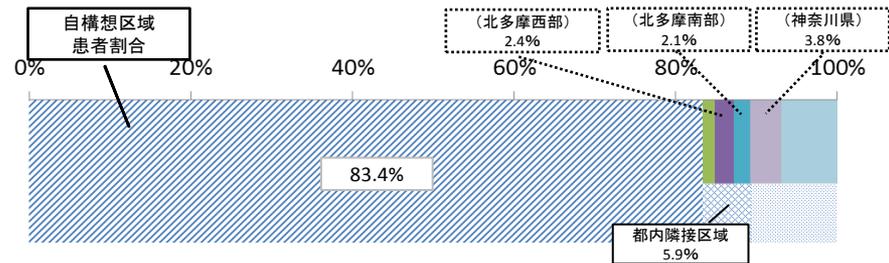
流入

1	神・相模原	28.5人/日
2	北多摩西部	17.8人/日
3	北多摩南部	15.5人/日

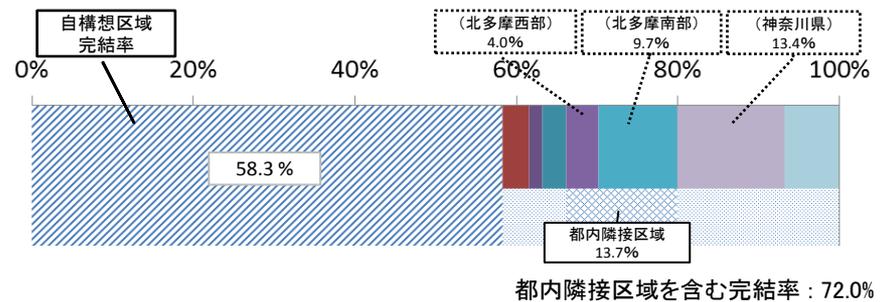
流出

1	北多摩南部	103.5人/日
2	神・相模原	67.0人/日
3	北多摩西部	42.7人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



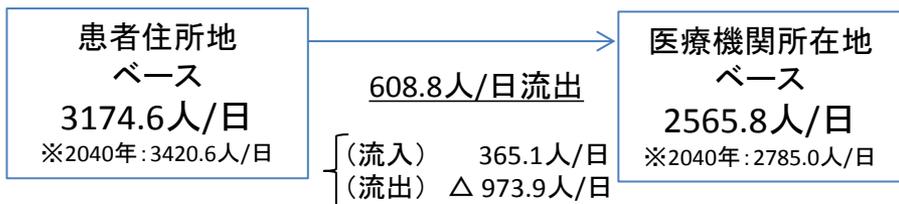
- 都内の他の構想区域と異なり、高度急性期から回復期は神奈川県への流出が多い。
- 自構想区域完結率は58.3%で都内隣接区域完結率は72.0%と島しょを部を除いてもっとも低い、その他の流出先の多くは神奈川県の中でも隣接区域。

《凡例》



※ 自構想区域完結率: 南多摩に住所地を持つ患者が、南多摩の医療機関に入院している割合  
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流出入の状況



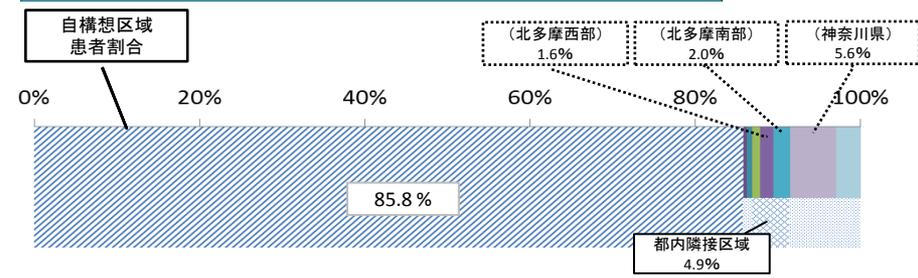
流入

1	神・相模原	82.6人/日
2	北多摩南部	51.1人/日
3	北多摩西部	39.9人/日

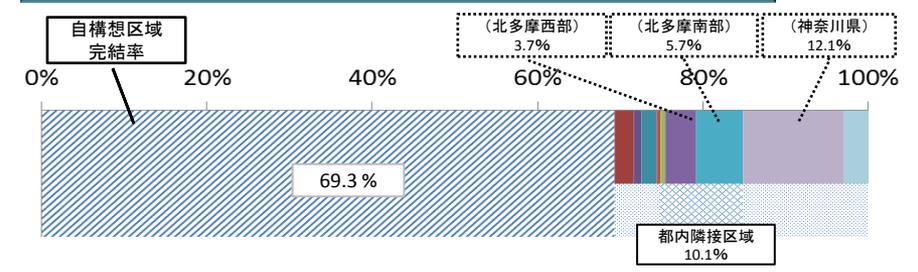
流出

1	北多摩南部	181.3人/日
2	神・相模原	161.7人/日
3	北多摩西部	118.3人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 79.4%

- 都内の他の構想区域と異なり、高度急性期から回復期は神奈川県への流出が多い。
- 自構想区域完結率は69.3%で都内隣接区域完結率は79.4%と島しょ部を除いて都内で最も低い。

《凡例》



※ 自構想区域完結率: 南多摩に住所地を持つ患者が、南多摩の医療機関に入院している割合  
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流出入の状況



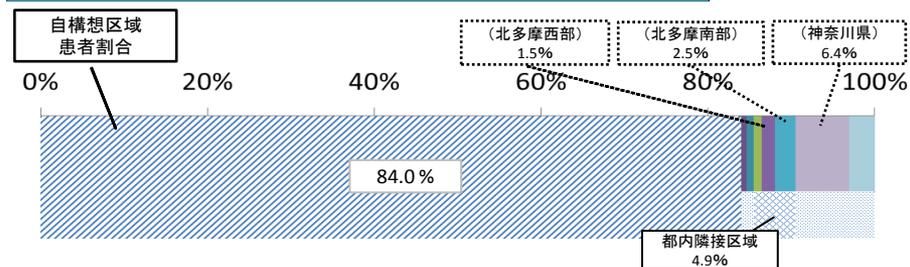
流入

1	神・相模原	113.7人/日
2	北多摩南部	68.2人/日
3	北多摩西部	42.5人/日

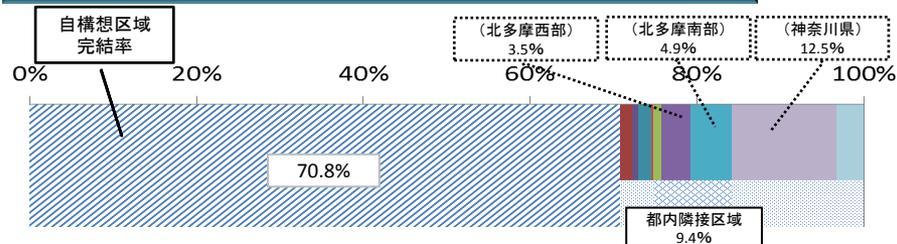
流出

1	北多摩南部	161.2人/日
2	神・川崎北部	138.4人/日
3	神・相模原	126.2人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 80.2%

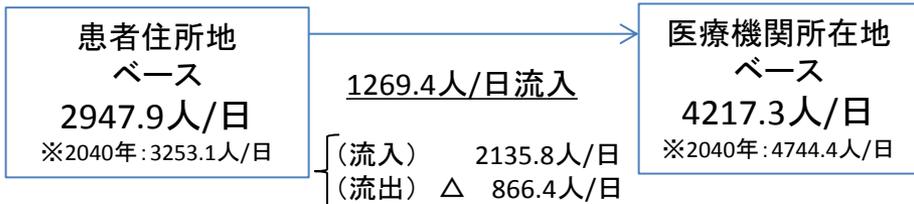
- 自構想区域完結率は70.8%と西多摩に次いで高く、都内隣接区域完結率を含むと80.2%。一方、神奈川県への流出も多い。
- 都内の他の構想区域と異なり、高度急性期から回復期は神奈川県への流出が多い。
- 回復期リハビリテーション入院料算定病床は、人口10万対で都平均の9割

《凡例》



※ 自構想区域完結率: 南多摩に住所地を持つ患者が、南多摩の医療機関に入院している割合  
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流出入の状況



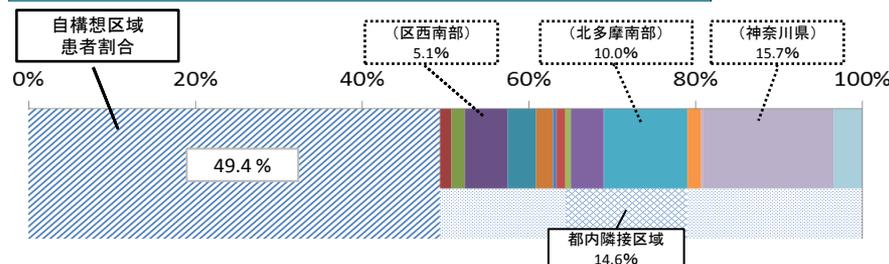
流入

1	北多摩南部	420.5人/日
2	神・川崎北部	226.9人/日
3	区西南部	215.2人/日

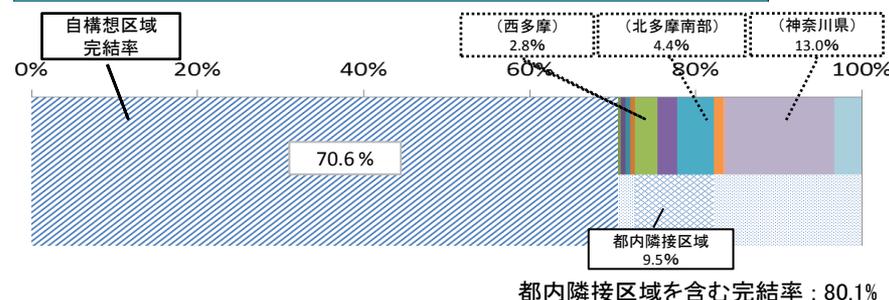
流出

1	神・相模原	224.0人/日
2	北多摩南部	130.2人/日
3	西多摩	82.1人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



- 都内医療施設における慢性期相当の患者の15.8%を診ており、自構想区域以外の住民が約半数。
- 自構想区域完結率は70.6%で、都内隣接区域を含むと80.1%
- 都内の他の構想区域とは異なり、慢性期は近隣県(神奈川県)から流入
- 医療療養病床が高齢者人口10万対で都平均の1.4倍、介護療養病床は1.1倍
- 障害者施設等入院基本料、特殊疾患入院医療管理料/入院料が人口10万対で都平均より多い。

《凡例》



※ 自構想区域完結率: 南多摩に住所地を持つ患者が、南多摩の医療機関に入院している割合  
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。